

誕生おめでとぅ(八月三十一日まで届出分・敬称略)

住所	保護者	性別	出生児
仮宿一七二二一	田村 和也	男	光国 <small>みつくに</small>
上仮宿	松元 幸紀	男	星那
野方六〇六三二二	佐土原正寛	男	大晟 <small>たいせい</small>
仮宿三四九	松家 和人	男	悠聖 <small>ゆうせい</small>
諏訪下	崎田 勉	女	美夏 <small>みか</small>

ごめい福をお祈りします。

香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をしてくださいました。故人のごめい福をお祈りします。  
(八月二十九日まで届出分・敬称略)

住所	寄付者	故人	年齢
仮宿二七四二一	谷口 愛子(亡父)	下戸正治	90歳
馬場上	今林 正巳(亡妻)	ハツ子	81歳
釜ヶ宇都	宇都 重昭(亡母)	タシ	78歳
高井田	高吉 良盛(亡母)	フミ	89歳
正和	大野 静(亡妻)	トミ	69歳
牧	濱屋 正明(亡母)	ハツミ	76歳
鷺塚	鷺東 義博(亡母)	ミチ子	74歳
下三文字	新留 義雄(亡妻)	初野	94歳
西迫	有馬 節子(亡母)	ヨシ	96歳
穂園	龍相 幸治(亡母)	帖佐房子	75歳
岡之下	屋野 サエ(亡夫)	隆	69歳
中村一区	東 健一(亡母)	ミチエ	86歳
仮宿上	西堂 フミ(亡夫)	道雄	91歳
中央通り	後藤 洋子(亡夫)	順一	78歳

薩摩郷句 三條風雲児 選

兼題『失敗』

大崎短歌会

大崎俳句会

植村聴診器  
子分限者失敗をしたとも申けな居つ  
(唱) 思も如ちやいかん産児制限  
西ノ園ひらり  
見舞客の失敗な一言ち勘くろつ  
(唱) 悪か病じや無ち言うちよつた家族  
北村虎王  
皺が寄つ婆顔れなつたダイエツト  
(唱) 瘦せたばつてんこいじやがつく  
平田穂波  
日曜大工やい損ねたか戸が開かじ  
(唱) さまざまな細工じやち笑るちよい女房  
榎山しげ子  
わが失敗を人に転嫁すいくずれ女房  
(唱) 敷かれ亭主どま文句も言えじ  
終戦の日の夕空へ飛び立ちし  
宇垣中將ら果てしはどこぞ  
原田 葉子  
戦争は終わったと母に告げられし  
小学六年あの青い空  
長重 悦子  
残留の手榴弾あまた戦いの  
傷あとうずくあつき夏の夜  
徳園 芳江  
両手両足もがれても嫁ぐと誓いしに  
抑留のままついに帰らず  
宮原 のり  
大正の生まれにて吾戎衣着ず  
ひそかに恥じぬひそかに笑みぬ  
溝口 稔  
夏霧や低く湧きくる牧の朝  
宮下 のし  
ほどほどの色合いうましミニトマト  
内村美恵子  
遠き子の幸せ祈るほととぎす  
山下 初枝  
六月燈なれぬ浴衣のしおらしく  
二見 淑子  
襖はずす婦人会のあとそのままに  
三浦 倫子  
松涼し友と球打つ時忘れ  
折田 スズ  
梅雨ふかくひろげしままの画材かな  
溝口 稔

ほっけもん

⑦⑤ さし歯

